



題字 小川 東州

JICA 社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部

〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6-1 ストークマンション札幌308号  
TEL&FAX 011-736-2333 ホームページ <http://www.do-counselor.jp>

## 新年のご挨拶



日本産業カウンセラー協会 北海道支部 支部長 桑原 富美恵

あけましておめでとうございます。

北海道支部の会員の皆様には穏やかな新春を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

現在、世界的な経済危機、百年に一度の大不況といわれ、私たちは、大きな時代のうねりの中で生き、大きな時代の課題を乗り越えていかなければなりません。

ふと時代を振り返ると、私たちが何度も学習した「ホーソン工場実験」は世界大恐慌時代に実在したことです。80年前のこの時代に「人間とは何か」「生きることは何か」を問いながら先人が生きたことを思うと一つの時代の意味と私たちの「なすべきこと」を問い直す時期なのかもしれません。

さて、産業カウンセラー協会も2010年には50周年を迎えます。本当に小さな自発的な学習組織であったグループがこのように社会に貢献する大きな組織と成長したことは大変意味のあることと思います。協会を大きく育ててきた、多くの先輩に改めて敬意と感謝を表しながら、私たちがこれからの産業カウンセラーはどうあるべきかを改めて考える時期なのかも知れません。

北海道支部も多くの会員の皆様に支えられ、少しずつ社会に貢献できる組織になってきました。支部の共通目標として、支部ロードマップの実現、[養成講座でカウンセラーを育成し、力をつけて、社会に役立つカウンセラーの育成。活躍の場を確保する]循環型の北海道支部が完成しつつあります。今では支部認定(養成講座・カウンセラー・

講師)を持ち各機関で活動している会員が全体の2割以上になっています。需要にこたえられず、大変な時もあります。最近では、緊急雇用対応時に行政からの相談を受け、相談員の緊急派遣など、昨年は夕張市の緊急対応、また近年は企業、団体などからの「内部クライシス」の様々な緊急相談、対応。また社会の大きな問題である、自殺対策の全道規模の協議会のメンバーとしての参画など社会的に「頼れる組織として」の認知も少しずつ受けてきています。今後、この期待に応えていくための益々のマインド、スキルアップが望まれるところです。

ご存知のように北海道支部では、平成15年5月に全国研究大会を札幌で実施しました。テーマ「生きることと働くこと、豊かに働く、豊かに生きる。」を継続的理念として取り組み続けています。平成19年度は企業の研修依頼は170件近くに及び、21000人の方々とお会いしています。平成20年はこの数字を大きく上回る予定です。支部の認定講師は研修の最後に、この共通理念を必ず伝えます。認定カウンセラーはこの理念を心に置きながらクライアントのサポートをしています。大きな時代の閉塞感の中、北海道で働く仲間が豊かに、また働くことを通して豊かな生き方が出来るようにサポートできるよう、私たちが十分に力をつけて、進んでいきたいと思ひます。

最後に2009年が会員の皆様にとり、心おだやかな1年でありますように、益々のご発展と健康をお祈りし新春のご挨拶といたします。



あけましておめでとうございます。

昨年秋、サッポロクラシックビール富良野ビンテージが数量限定で発売されました。

何とまるやかなビールでしょう！加えて、たこやきがあれば最高に幸せです。

新年も、このような小さな幸せをこころゆくまで味わいながら、生きていこうと思います。

そして、支部の仲間たちが怪我なく、病気なく、喧嘩なく、穏やかな一年でありますようにお祈りしています。合掌

(Omi)

新年は丑年、そうです、私は年男なのです。しかも、あろうことか還暦を迎えることになりました。ただ、還暦を迎えるというベースで物事を見てみると、なにやら、見慣れた景色、自然、また、TVに映し出される異国の風景に吸い込まれるような気がします。

どうやら、60年間何も見ず、知らずに生きてきたようです。

暦がリニューアルされるのを期にアクティブに、いろんなことに、積極的に関わっていく年元年にしたいなーと思っています。(もちろん支部活動もですよ) (三人のじいじ)

### 新年雑感

昨年一年間で自分にとって大きな出来事のひとつは、年間52日の休肝日を決めたことだ。途中何度も厳しくなったがなんとかクリアした。よくやったと思っている。本年も52日休肝日は継続しよう。もっとも、健康に注意しようとして肝臓ばかり気をつけても、自分で気がつかないうちに少しずつ物忘れが進行しているようだ。その防止も含めパソコンのスキルアップや、脳の活性化も図らなくては。それと愛妻との海外旅行。これが一番大切ですね。何かあったら直ぐにお世話になるのですから。本年もよろしく願いいたします。

(K..M)

昨年は皆様の力をお借りし無事過ごすことができました。ありがとうございました。

私の今年の願いは、あれもやりたい、これもやりたいと思える余裕のある時間を得ることです。皆様の願いも叶う一年でありますようにお祈り申し上げます。

(相談事業部 清水 良子)

あけましておめでとうございます。2009年が始まりましたね。  
「人生何が起こるかわからないからおもしろい!」とよく言いますが、若輩者の私は「想定外」がとても心配でなりません。「生きること」は思い通りにはならないもの…ですが、ちょっと振り返ってみると、「想定外」だったからこそ、今の私がいるのも事実…。どれもこれも意味あつてのことなら楽しんでみよう!そんな1年にしたいと思います。  
(二俣 美幸)

みなさま 明けましておめでとうございます。昨年の秋ころから暮れにかけては、世界中から不景気な話題ばかりが届いたような気がいたします。毎日のように「リストラ」や「内定取り消し」などがニュースで流れ、とても他人事には思えません。このような生活環境が不安定な時にこそ、いままでの勉強の成果を活かしたいと思う新年です。今年は春からスキルアップの研修を受講する予定です。珍しく、去年の元旦からつけ始めた日記を1年間止めずに書きました。(毎日ではありませんが…) これは今年も続けていきます。今年もみなさまにとってすばらしい1年になりますようお祈りします。  
(さかな)

あけましておめでとうございます。私は毎年、何か1つ新しいことにチャレンジしようと思っています。昨年は「動く」を目標にベリーダンスなる物に挑戦してみました。スポーツは殆ど何でもOKですがダンスと名の付く物は全くの初体験…指先だけ震わせるというのに肩から動き、腰を揺らすというのにへっぴり腰でお尻まで動く…鏡に映るそんな自分の姿に大爆笑。おまけに腰を痛め3回でギブアップ。あ～情けない…歳を実感しながらも「いやまだまだ!!今年も新しいことに挑戦するぞ」と誓う新春です。こんな私ですが今年もよろしくお願いいたします。  
(腰痛の雪坊主)

世の中いろいろなことがありすぎて、ワクワクする気持ちで「今年はどうな年になるのかな?」なんて思いを巡らせることが難しくなった様な気がします。何事も無く平凡に毎日を過ごせることの幸せ。今年はその毎日を大切に、そしてじっくりと味わいながら過ごしていきたいと思っています。今年も宜しくお願い致します。  
(T.P)

微妙な数字で、おめでとう!昨年「すずらん」でダイエット宣言をした私は、結果報告をしなければなりません。が、とっても微妙な数字です。毎日体重測定をする、食べた物をチェックする。この行為が何を意味するのか、勉強されている皆さんはお分かりですよね。結果は、1年間で5キロ減。普通ならかなりの成果だと思うのですが、悲しいことに、痩せたと認識できたのは私だけです。でも、諦めない。本年も5キロ減なら、2年間で10キロ!!そのときは、きっと誰かが気付いてくれるはずですよね。  
(青木)

明けましておめでとう御座います。今年はシニア試験を、受・け・ま・す。なんせ去年はちつとも勉強せず、棄権したものですから…(汗)。色々と気になることがあると集中出来ないもので。今年を受験年、専念しますよ！なのでシンプル&ストイックな暮らしを心掛けます、はい。(あっ、協会の活動は勉強の一環なのでガンバります!) 皆さん、甘い誘惑はご法度ですぞ。今年も宜しくお願い致します。  
(としおとこ)

皆様、昨年は大変お世話になりました。  
すずらんが皆様のお手元に届く頃には、私は「一姫のおばあちゃま」になっていると思います。昨今は、少子化と年金問題です。そういえば、某企業で働く女性が「産め、産めと言うけれど、おじさん達の老後の年金の為に言われているようで腹が立つ」と言っていた言葉を思い出しました。「こころ」に関わる者として、言葉は優しく思いやりを持ちたいものです。今年も宜しく  
お願い致します。  
(一姫のおばあちゃま)

一年前のこの欄に「いつの間にか先輩と呼ばれている自分がいます」と書いたのですが、気がつけばそれが「先生と呼ばれる自分」にまで発展した一年でした。講師デビュー、そして学会デビューまでしてしまいました。だから「どうやって聴くか」より「どうやって伝えるか」ばかり考えた年間だったような気がします。でもよく聴きましたよ～中島みゆきばかり聴いていました(笑)。さあ新しい一年。自分はまだ発展するだろうか…  
(和泉)

あけまして、おめでとうございます。私の座右の銘は、「幸せと、眩くたびに、運がむく」と言う文章です。この言葉は、カウンセリングの養成講座の同じグループの方から、いただいた年賀状に書いてあった言葉です。  
年賀状をいただいてから、自分の机のクリアファイルの中にこの言葉を入れて、事あるごとに口に出して言ってみます。すると、全身がとてもリラックス出来ます。紅茶を飲んでも「美味しいー幸せ!」お昼のお弁当を食べながら「美味しいー幸せ!」と口に出して言ってみます。すると、ほんとうに、幸せな気分が満たされます。今年も、今ある幸せを意識して、過ごして行きたい  
と思います。  
(伊藤 恵子)

#### 「激変の年を迎えて」

米国サブプライムローン破綻に端を発した、日本の雇用情勢が激変した本年を迎え、キャリアコンサルティングは4年の経験はあるものの、昨年支部認定COとして活動し始めた私は、そのCLの今そこにある危機を、暖かく受容しなければという思いと言動が、真に伝わるだろうかの不安を高じているのが本音です。しかし目指すものは、「人を愛する力」、「人を信じる力」、また「悩む力」を変わず持ち続ける資質を豊かにしようと思いを募らせています。  
(松山 翰吉)

年末から不況一色のまま年が明けました。バブル崩壊前後に自殺が急激に増加した時期と、どうしても重ね合わせて見てしまう自分があります。その対策の一環として、カウンセラーやキャリアコンサルタント等の人的インフラの整備強化を行ってきたという経緯を考えると、有資格者は今こそ力を発揮する時なのかもしれません。

雇用の流動化という言葉が、盛んに使われだしたのもバブル崩壊前後だったと思います。雇用を流動費とするのは国の政策のひとつでもあったと思いますし、そのひとつの方向が派遣労働の解禁でもあったと思っています。加えて、流動化には労働者自身がエンプロイアビリティを身につける必要があるとも言われ続けましたし、同時に事業主側には年齢ではなく能力で採用することが求められ、解雇ルールを法制化するため労働契約法が施行されました。

そして、この不況です。流動費は「流動」なのですから、不況時には減らされるのは当たり前です。しかし現実には「雇用を守れ」の大合唱です。社会が雇用の流動化に適合する途上のためなのか、あるいは雇用の流動化政策が間違いだったのかは、私にはわかりません。ただ、すでに動き出している歯車に翻弄されている使用者・労働者双方のために、何ができるのか考えたいと思います。

(十川 秀逸)

あけましておめでとうございます。

去年は、新しい事にチャレンジし、夢中で進んで来ましたが、

今年は、ゆっくりとした歩みで、一步一步確実に進んで行きたいと思います。

ゆっくり、のんびり、マイペースで、たまには小走り位するかな？

また、昨年実現出来なかった「女性の品格」を目指して努力？する予定です。一応…。

(品格を目指すイノシシ)

あけましておめでとうございます。

昨年中は、不慣れな事務局に温かいご支援ご協力をありがとうございました。

日頃、会員の皆さんが、熱い想いで目的に向かい、自己研鑽に励んでいらっしゃることに心から敬意を表します。私も、年頭に当たり、皆さんの生き方を参考にさせていただきながら、これから後半の人生に向け、牛歩のごとくではありますが、スキルアップに努めていきたいと思っています。本年も何かとお世話になりますがよろしく願いいたします。

(事務局 畠中)

北海道支部にお世話になって1年が経ちました。

3ヶ月経ったら…半年経ったら…1年経ったら全体を把握できるはず！

と思っていたのですが、いまだに失敗だらけで、皆さまにご迷惑をおかけしています。

新年は、失敗やご迷惑をかける数を減らしていけるよう、がんばります。

本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

(事務局 きむらともこ)



## シニア研修 「逐語検討Ⅰ」を受講して

11月22、23日の二日間、かでの2.7にて「逐語検討Ⅰ」を受講しました。支部認定の講師やカウンセラーになるためにも必要な講座ということでしたが、受けてみて納得のとても深い学びのある講座でした。5分間の逐語記録（テープ&面接記録書）を事前に用意し、当日は受講生全員で一人一人の記録について検証しました。1件あたりの時間は1時間、2日間で9セッションです。他の方の逐語記録について「自分だったらどう応答するか」を考え、伝え合いました。自分の面談を皆さんに聴いていただき、フィードバックをいただくことも勉強になりましたが、他の方のケースを検討することで、感じ方や見方の枠組みが広がりました。特に面談中の「笑い」の意味、笑うことで自分のバランスを保とうとする働きがあるということは、教科書だけの勉強では得られない実感を持った学びとなりました。これ以外にも数多くの学び得ることができました。私は初めてのシニアコースであり、会場に着くまでは緊張し、足取りも重かったのですが会場に入ると久しぶりに会う仲間の顔があり、ほっとしました。講師は京都から来ていただいた古谷先生でした。「私はきびしいわよ」というお言葉どおりの的確なフィードバックがありましたが、とても温かい場をつくっていただいたおかげで、受け止めることができました。先生をはじめ、支部のみなさん、そして共に学んだ受講生のみなさんに感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。受講中は頭をフル回転したせいか、ずっと頭が痛く、講座が終わった後は疲れ果ててぐったりしてしまいました。体の筋肉痛は最近三日後に出るようになりましたが、脳の筋肉痛は当日出るようです。おかげさまで前よりも少しだけ柔らか脳になったような気がします。1月の逐語検討Ⅱも受講予定です。今からとても楽しみです。（林 直人）



## 会員研修 「傾聴トレーニング研修Ⅰ・Ⅱ（旭川市）」を受講して

去る10月28日と11月26日の2回、実技指導者の桑原支部長と二俣さんの指導で旭川で協会会員の傾聴トレーニング研修が行われました。札幌の研修へはなかなか足を運べずにいた旭川会員にとっては、意味多い研修でした。久しぶりの面接実習に、カウンセラー役となれば、クライアント役へ、命ある事に敬意を払います！とばかりの気負いで聴くことが精一杯の緊張から始まりました。

それからは、クライアントを受け入れる基本を忘れず、感情に波立たせず…時には話しが枝葉に及んだりもしましたが、ふりかえりでは個人の価値観や偏った傾向への反省が続出しました。末日のもっと研修が延びて欲しいという時間には…そう例えば、現象か本質かどちらを見るかで問題を解決出来ないか傾向の話題等にも、現象も本質も全て受け入れる作業のすり合わせがカウンセリングです、というような桑原支部長の細やかなコメントをギリギリまでたくさんいただきました。研修を終えたメンバー各々は、研鑽を積まなければという熱い気持ちと、旭川にもっと研修の機会を頂きたいという強い希望とで、帰り道高潮しておりました。本当にありがとうございます。（旭川 藤田 美英）



## 会員研修 「カウンセリングとユング心理学Ⅳ」を受講して

12月9日で最終を迎えた「カウンセリングとユング心理学」を受講してきました。

無意識の世界の夢と箱庭療法を取り上げ、治療者が何を伝えたいのか、無意識のメッセージからその意味を捉え、治療者に問いかけていき今起きていること、日頃から感じてきたこと、何が問題となっているかを治療者が気付いていき問題を解決して成長していく過程を知ることができ、とても勉強となった研修でした。

そして幼少からの親子関係の築き方が大切なんだと実感した研修でした。

今までユングの本は夢判断と言う観点からしか読んでいなかった私はその深さを知ることができ、もっと学びを深めたいと思いました。次回もこのような研修があれば参加したいです。最後に清水先生ありがとうございました。（札幌会員 A:Y）



## 「支部認定講師事前研修 - I」を受講して

「支部認定講師事前研修 - I」が平成20年12月6日（土）～7日（日）の二日間札幌コンベンションセンターにて南国沖縄より「カリスマ講師」の異名を持つ島仲ルミ子当協会理事を講師にお招きして終日行なわれました。

研修の二日間札幌は本来の厳冬を呈する気候でしたが、島仲講師の笑顔と熱い語りと活発なグループワークで終始活気に満ち笑いに包まれた熱い二日間でありました。

講義と随所にグループディスカッションを取り入れた今回の研修では2日目に各グループのグループ名も誕生する程仲間意識が芽生え、グループのみならず島仲講師と個性豊かな受講生17名が一つに纏まった様な体感が得られました。

島仲講師の経験談を交えての講義内容と共に講義のテンポやグループワーク・休憩のタイミングなど今回の研修に参加することで直に体験出来たことは何よりも貴重な経験であったと捉えています。又、受講生の名前を即座に覚え、「〇〇さん」と語りかける島仲講師の姿にもその人柄と「講師」としての真髄、そしてプレゼンテーションの有り方を垣間見た思いがします。

「心がこころを育てる」で始まり「成長とは変化することなり」、「一にも二にも素敵な人柄づくり、頑張りましょう」と締め括られた島仲講師の言葉は強く印象に残りました。今回参加された受講生の想いは一つ、2月・3月の「支部認定講師事前研修 - 2」へそして第二・第三の「島仲ルミ子」を目指し共に研鑽されるものと確信しております。

(勝又 浩和)

No.05

## レディネス通信

平成20年度北海道支部認定カウンセラー育成研修は、12月13・14の両日に北星学園大学教授の清水信介先生による逐語記録検討で最終審査が行われ終了しました。

私が当該研修の受講を申し込んだのは平成19年10月に東京から函館へ居を移したことにより、この地で産業カウンセラーの第一歩を踏み出すためのスキルアップ、ネットワーク作り、認定取得を目指したからでした。4月から8ヶ月間に及んだ当該研修では理論学習と面接実習を通して受講者全員と学び合うことで、各人のペースと個性による成長が得られたと実感しています。

今回の最終審査では各逐語記録に対する先生の助言から非常にたくさんものを学びました。中でも『クライアントが語るひとつひとつの言葉ばかりを意識するのではなく、全体の流れの中に現れてくる事柄や感情を捉えて、その発言の裏側にある心の動きを丁寧に汲み取ること。』と説かれたこと、『カウンセリングは練習あるのみ、練習なくして進歩なし。上手な人のカウンセリングをよく検討し、絶えず自己研鑽を続けていくこと』とカウンセラーの心得を示されたことです。

末筆になりましたが、私達の成長を願って適切なアドバイスを下さった指導者の方々、時に厳しい指摘、時に励ましの指摘をくれた仲間にお礼と感謝の気持ちを申し述べます。

(中田信子)

## 支部認定講師事前研修 2 の 受講者募集について

会員の皆様には、各々のフィールドにてご活躍のことと存じます。今般、支部認定講師育成のための研修を下記要領に基づき実施いたします。尚、講師として活動を希望されておられる方には、必須の研修となります。

### 受講資格

(下記の要件を満たしている方)

- ①支部認定講師として活動を希望する者
- ②支部認定講師事前研修1の受講修了者  
(H14..18年受講者も含む)
- ③指定レポートの提出可能者(認定審査判定の一項目となります)  
  
◎レポート課題「産業カウンセラーとして講師を行う際に、あなたが大切にしようと思うことを述べてください」(1200字程度にまとめてください。)以上を作成の上、申込時にコピーを添付し、研修1日目に原本を持参下さい。
- ④原則として、平日に講師派遣に応じられる者

### 研修内容

- 一日目：3時間程度の講義が出来るような、質、量の講義を受ける、終了時2日目のプレゼンに使用する、協会作成の資料と、協会講師として、伝えるべき項目を中心にポイントを数項目示しますのでそれを基に各人のセンスで膨らませて2日目のプレゼン審査に臨んでいただきます。
- 二日目：15分のプレゼンテーション実施(認定審査には、協会本部認定講師2名があたります。)

1.日 時	1日目 平成21年2月22日(日) 9:15～17:00(予定) 2日目 平成21年3月15日(日) 9:15～18:00(予定)
2.会 場	かでの 2.7 920号室(札幌市中央区北2条西7丁目)
3.受 講 料	30,000円(税込み)
4.定 員	15名
5.申込方法	(1)同封の「支部認定講師事前研修2申込書」により、FAXまたは郵送でお申込ねがいます。 (2)受講料は、郵便払込取扱票を使用し、下記口座へ振り込み願います。 ・口座番号：02700-9-1731 ・加入者名：(社)日本産業カウンセラー協会北海道支部 通信欄に「会員番号」「支部認定講師事前研修2」と記入願います。
6.締 切	平成21年2月12日(木)：当日消印有効



## 脳をフル回転させるには…

2008年12月に発表された「今年を表す漢字一文字」は「変」でした。

2007年は？と思い調べてみると「偽」…なんとなく色々なニュースの場面が思い出されました。2008年の「変」もあまり良いイメージはありませんね。

漢字でこの前、ひどく自信をなくしました。札幌の地下鉄に「頭の体操」のような問題が広告の間に載っています。小学校や中学校の入学試験問題のようなのですが…

これがまた解けないんです。先日の問題は漢字1文字が並んでいて、もう漢字1文字を加えて二字熟語のしりとりを完成させなさい というものでした。2箇所くらいは思いついたのですが、あとはさっぱり。頭が固いのか悪いのか、もうがっかりしました。そういえば、ここのところめっきり手書きをしなくなりました。漢字が出てこなくても、PCや携帯で「変換」をすると候補が出てくるのであとは選ぶだけ。これでは脳も退化する一方かと思ひ至りました。このままではいけないと思い、ちょうど新聞の広告に出ていた本を早速購入しました。本のタイトルは「脳にいいことだけをやりなさい」というものです。上手に脳を使って、快適に毎日を過ごしたいと思う年の初めです。

この本を読んだ感想は、またこのコーナーでお知らせしたいと思います。

## 各部からお知らせ

### 養成講座部より

平成21年度養成講座の申し込みが開始されましたので、リーフレットを同封いたしました。今回よりWeb申し込みが可能となりましたので、お知り合い等が希望される場合は支部ホームページをご覧ください。日程表等、詳細をダウンロードできます。1月30日が締切日となっておりますのでご注意ください。なお、ホームページをご覧になれない場合は、ご案内を郵送いたしますので、支部事務所へお問い合わせください。

## ◆関連団体の情報コーナー◆

### ◎中央労働災害防止協会北海道支部主催

「職場におけるメンタルヘルス対策に関する研修会」

「働く人の自殺予防に関する研修会」

日 時：2月26日(木)13：30～

場 所：KKRホテル札幌3階 鳳凰

参加 費：無料

研修 内 容：働く人を取り巻く社会環境の変化は厳しく、ストレスを感じている人の割合は増え、自殺者は毎年続けて3万人を越えている状況を踏まえ、管理監督者、産業保健スタッフ等に向け事業場において取り組むべきメンタルヘルスケアの実施内容、自殺の実態、予兆、日常の配慮と相談対応についてなど。

FAXでのお申込となります。参加ご希望の方は下記までお問い合わせください。

問い合わせ先：北海道労働基準協会連合会

TEL011-747-6141

### ◎障がい者雇用・就労促進セミナーご案内

テーマ「地域における障がい者雇用と支援を考える!!」

日 時：1月31日(土)13：30～17：40

会 場：北星学園大学A503教室

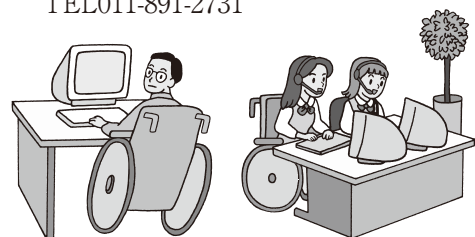
参 加 費：1,000円

「日本理化学工業株式会社における障がい者雇用の取り組み」など3講演が行われます。

申込先メール：hsvr2007@yahoo.co.jp

問い合わせ先：上記セミナー事務局

TEL011-891-2731



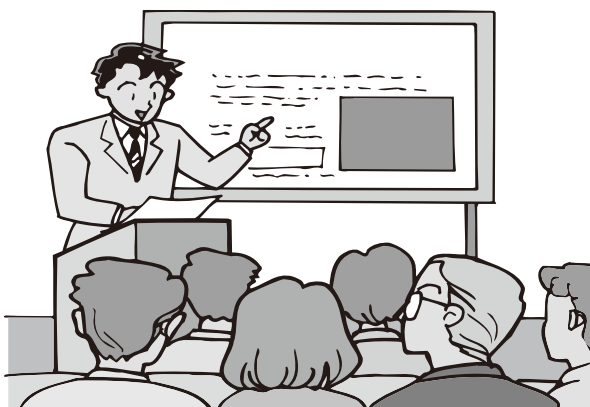
# 行事等のお知らせ

## 研 修

### シニア研修

#### 「逐語検討2」(M1720)

日 時：1月17日(土)・18日(日)  
場 所：かでの2.7  
講 師：桑原富美恵(当協会会員講師)  
定 員：20名  
受講費用：26,000円  
申込締切：申込は締め切りました



### 会員研修

#### 「傾聴トレーニング研修II(札幌市)」

対 象 者：産業カウンセラー協会会員  
日 時：1月15日(木)18:30~20:30  
場 所：かでの2.7(550会議室)  
研修担当：養成講座実技指導者  
定 員：20名  
受講費用：1,500円  
申込締切：申込は締め切りました

#### 「傾聴トレーニング研修III(札幌市)」

対 象 者：産業カウンセラー協会会員  
日 時：1月26日(月)18:30~20:30  
場 所：かでの2.7(1040会議室)  
研修担当：養成講座実技指導者  
定 員：30名  
受講費用：1,500円  
申込締切：1月23日(金)  
定員となり次第、締め切ります

※昨年好評をいただきました「北海道支部ロードマップ説明会」を今年も3月8日(日)に開催の予定です。北海道支部の今後の活動予定などをご理解いただく機会にしていだければと思います。費用は無料となりますので是非ご参加ください。詳細は決まり次第ご連絡させていただきます。

申込先 (社)日本産業カウンセラー協会北海道支部

札幌市北区北7条西5丁目6-1-308 電話・Fax：011-736-2333

振込先 郵便振替 02700-9-1731 (社)日本産業カウンセラー協会北海道支部

## 編 集 後 記

あけましておめでとうございます。本年も会員の皆様になるべく早く情報をお届けできるよう広報部一同、頑張りますので宜しく願いいたします。最近研修の場で、受講している方に「ずらんに原稿をお願いできますか」と声をかけさせて頂いています。一瞬ためられる方もいますがほとんどの方は快く引き受けてくださり、それに又感銘を受けたりします。なぜなら声をかける方もかなり勇気があるものでドキドキしながら声をおかけするので、笑顔で「いいですよ」と言っただくと本当にホッとします。そしてお寄せいただく文章はどれも感動的で「学ぶ」という皆さんの思いがひしひしと伝わってきます。出来るだけ多くの方にずらんに関わっていただきたいと、なるべく初めての方にお声をかけるようにしています。今後も研修の場で突然お願いすることが有ると思いますがどうぞよろしくお願い致します。